

「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」策定に係る
アンケート調査へのご協力について

平素より、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
鈴鹿市では、令和6年度に、「第4期鈴鹿市障害者計画・第7期鈴鹿市障害福祉計画・
第3期鈴鹿市障害児福祉計画」の策定を予定しております。

計画策定にあたり、障がいのある方の福祉サービスの利用状況や福祉に関する意識、
意向などを把握するため、市内にお住まいの障害者手帳などをお持ちの方から無作為に
抽出した1,500名の方にアンケートを実施することになりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の
回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、ご回答いただいた内容は、
統計的に処理し、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用します。そ
の他の目的で使われることはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年〇月 鈴鹿市

- アンケートの回答方法は2つあります。以下のどちらかで回答してください。
- 1 この調査票を記入し、同封されている返信用封筒で障がい福祉課へ提出してください。
 - 2 下のQRコードを読み取り、web回答用のページから回答してください。

回答は〇月〇日までにお願いします。

web回答の場合は、この調査票を提出する必要はありません。

※アンケート調査票を音声化したものを用意することができます。

必要な方は障がい福祉課までご連絡ください。

■調査票の記入について

- ・このアンケート調査は、あて名のご本人がお答えください。
(ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きのうえ、
または、ご意向を汲み取ったうえ、代理でご記入をお願いいたします。)
- ・各質問ごとに、あてはまると思う番号に○をつけてください。
- ・答えが「その他」にあてはまる場合には、() の中にできるだけ具体的に記入
ください。
- ・ご記入いただいたアンケート調査票は、無記名のうえ、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに〇月〇〇日(〇)までに投函してください。

【web回答用QRコード】→

【web回答用番号】

〇〇〇〇



【問い合わせ先】

鈴鹿市 健康福祉部 障がい福祉課

TEL : 059-382-7626 FAX : 059-382-7607

MAIL : shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp

がいにくじん ひと
■外国人の人へ

これは、^{すずかし}鈴鹿市が^{あた}ら^{けいかく}新しい計画を作るためのアンケートです。

^{にほんご}日本語がわからない人は、^{ひと}日本語がわかる人といっしょに^{こた}答えてください。

なにか^{しつもん}質問があれば、^{しやくしょ}市役所に^き聞いてください。

■ Aos cidadãos estrangeiros

Pedimos sua cooperação com o Questionário de Novo Plano de Suzuka.

Se você sabe japonês, por favor preencher o formulário. Caso tiver alguma dúvida, pergunte à sua prefeitura.

■ A los señores ciudadanos extranjeros

Les estamos pidiendo su colaboración con el cuestionario de un Nuevo Plan de Suzuka.

Si sabe japonés, por favor coopere tanto como sea posible.

Si tiene alguna pregunta, entre en contacto con la municipalidad de Suzuka.

■ To foreign citizens

We would like to ask your cooperation with the Suzuka City New Plan.

Please answer with someone who understands Japanese. If you have any questions, please ask to Suzuka City.

と あ さき
【問い合わせ先】

^{すずかし}鈴鹿市 ^{けんこうふくしぶ}健康福祉部 ^{しょう}障がい福祉課

TEL : 059-382-7626 FAX : 059-382-7607

MAIL : shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp

ちょうさ かいとうしゃ 調査の回答者について

とい 問1 このアンケート調査を記入されるのはどなたですか。(1つに○)

1. ほんにん (この調査票が郵送されたあて名の方)
2. かぞく しん 家族や親せき
3. いがい かいじょしゃ 2以外の介助者

1 きほんてき 基本的なことについて

とい 問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和4年9月1日現在)(数字を記入)

※あなたとは、この調査票が郵送されたあて名の方で、この質問以降「あなた」と呼びます。

まん () さい 才

とい 問3 あなたは次のどの手帳をお持ちですか。手帳の等級、障がいの種類もお答えください。

<手帳の種類> (あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|---------|----------------|
| 1. 身体障害者手帳 | 2. 療育手帳 | 3. 精神障害者保健福祉手帳 |
|------------|---------|----------------|

<等級> (1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 1. A1 | 1. 1級 |
| 3. 3級 | 4. 4級 | 2. A2 | 2. 2級 |
| 5. 5級 | 6. 6級 | 3. B1 | 3. 3級 |
| | | 4. B2 | |

<障がいの種類> (「1. 身体障害者手帳」と答えた方のみ) (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 視覚障がい | 2. 聴覚障がい、平衡機能障がい |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい | 4. 肢体不自由(上肢) 5. 肢体不自由(下肢) |
| 6. 肢体不自由(体幹) | 7. 内部障がい |

問4 あなたは、自立支援医療（精神通院医療）を受給していますか。（1つに○）

1. はい

2. いいえ

問5 あなたは、発達障がい^{はったつしょうがい}の診断^{しんだん}を受けていますか。
（広汎性発達障がい^{こうはんせいはったつしょうがい}、自閉症^{じへいしょう}など）（1つに○）

1. はい

2. いいえ

問6 あなたは、難病^{なんびょう}（特定疾患^{とくていしっかん}）の認定^{にんてい}を受けていますか。（1つに○）

1. はい（疾患名^{しっかんめい}）

2. いいえ

問7 あなたは、高次脳機能障がい^{こうじのうきのうしょうがい}の診断^{しんだん}を受けていますか。（1つに○）

1. はい

2. いいえ

2 現在の生活^{げんざい}について^{せいかつ}

問8 現在の生活^{げんざい}している場所^{せいかつ}はどこですか。（1つに○）

1. 自宅^{じたく}に住^すんでいる → 自宅^{じたく}は次^{つぎ}のうちどれに該当^{がいどう}しますか。（1つに○）

〔 I. 持ち家^{もちいえ} II. 公営住宅^{こうえいじゅうたく} III. 借家・アパート^{しゃくや} 〕

2. 病院^{びょういん}に入院^{にゅういん}している → 次ページの問10へ

3. 入所施設・グループホーム^{にゅうしょせつ}で生活^{せいかつ}している

→ <問8で「1. 自宅^{じたく}に住^すんでいる」と答^{こた}えた方^{かた}にお尋^{たず}ねします。>

問9 現在^{げんざい}、一緒^{いっしょ}に暮^くらしている人^{ひと}はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者^{はいぐうしゃ}

2. 父親・母親^{ちちおや ははおや}

3. 子ども（子どもの配偶者^{はいぐうしゃ}含む）

4. 兄弟・姉妹^{きょうだい しまい}

5. 祖父・祖母^{そふ そぼ}

6. 孫^{まご}

7. 自分ひとり^{じぶん}

8. 友人など^{ゆうじん}

9. その他（

）

とい 問10 あなたの現在の生活で困っていることや不安に思っていることはどれですか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 相談できる窓口がない
2. いっしょに暮らす人がいない
3. 身の回りの支援をしてくれる人がいない
4. 働くところがない
5. 生活に必要なお金が足りない
6. 趣味や生きがいが見つけられない
7. 生活するうえでの必要な情報が得られない
8. 自分の健康や体力に自信がない
9. 将来的に生活する家、施設があるかどうか不安
10. 気軽に行ける病院がない
11. 特に困っていることはない
12. その他 ()

とい 問11 あなたが悩みや困ったことを相談するのはどなたですか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 施設の職員
4. 会社の上司・学校の先生
5. 医師
6. 市役所の職員
7. 民生委員・児童委員
8. 社会福祉協議会の職員
9. 障がい者の団体
10. 総合相談支援センター「あい」の職員
11. 専門機関（児童相談所、保健所など）の職員
12. 相談支援事業所の相談員
13. その他 ()
14. 相談できるところはない

問12 今後暮らしたいと思う場所はどこですか。(1つに○)

1. 自宅で暮らしたい
2. 家を借りて暮らしたい
3. グループホームなどで暮らしたい
4. 施設で暮らしたい
5. わからない
6. その他 ()

問13 今後、障がいのある人が地域で社会生活を営むためにはどのような条件が必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 賃貸住宅など住む家を準備すること
2. 支援スタッフのいるグループホームなどに入れること
3. 通えるなじみの場所があること
4. 家族やパートナーなどの理解者がいること
5. 在宅の福祉サービスが充実すること
6. 身の回りの家事などを手伝ってくれる人がいること
7. 金銭管理や体調管理の相談に乗ってくれる人がいること
8. その他 ()

3 さいがい じ たいおう 災害時の対応について

とい 問14 あなたは、さいがい はっせい ばあい ひなん まる
あなたは、災害が発生した場合、ひとりで避難することができますか。(1つに○)

1. できる

2. できない

3. わからない

→ とい 問16 へ

→ < とい 問14 で「2. できない」と答えた方にお尋ねします。 >

とい 問15 さいがい ひなん ひつよう さい てだす ひと
災害のため避難が必要になる際、手助けをしてくれる人はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. てだす ひと
手助けをしてくれる人はいない

2. かぞく しん
家族や親せき

3. となりきんじょ ひと
隣近所の人

4. みんせい いん じどう いん
民生委員・児童委員

5. じちかい やくいん くみちよう
自治会の役員・組長

6. しょうぼうだんいん
消防団員

7. ホームヘルパー

8. わからない

9. その他 (

)

とい 問16 さいがい じ こま なん まる
災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. とうやく ちりよう いりようてき う
投薬や治療などの医療的ケアが受けられない

2. ほ そうぐ しょう にちじようせいかつようぐ にゆうしゆ
補装具の使用や日常生活用具の入手ができなくなる

3. きゆうじょ もと
救助を求めることができない

4. あんぜん じんそく ひなん
安全なところまで、迅速に避難することができない

5. ひがいじようきよう ひなんばしょ じようほう も じ おんせいじようほう にゆうしゆ
被害状況、避難場所などの情報(文字・音声情報)が入手できない

6. しゅうい
周囲とコミュニケーションがとれない

7. ひなんばしょ せつび せいかつかんきよう ふあん
避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安

8. その他 (

)

9. とく
特にない

とい さいがい じ きゅうえん さいがい じ ようえんごしゃだいちょう とうろく よ おも
問17 災害時の救 援のために、災害時要援護者台 帳（※）に登録しても良いと思いま
すか。（1つに○）

1. すでに登録している
2. 現在は登録していないが、しても良いと思う
3. 現在登録していないし、今後もしたいと思わない

※災害時要援護者台 帳とは・・・日頃から見守りを必要とする方の情 報を集めた名簿です。災害時に
何らかの支援が必要な方のうち、情 報 提 供に同意された方が登録をしています。自治会や民生委員
と共有することで、災害時の安否確認や避難活動、日頃の見守りに活用できます。

とい ふくしひなんじょ し まる
問18 あなたは、福祉避難所（※）を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

※福祉避難所とは・・・避難生活において、障 がい者や高齢者などの一定の配慮を要する方を受け入れ
る避難所のことです。社会福祉施設等が福祉避難所として指定されており、本市のホームページや
防災マップなどに掲載しています。

4 仕事について

問19 あなたのふだんの過ごし方について、あてはまるものはどれですか。(1つに○)

1. 常勤で仕事をしている(自営業含む)
 2. パートやアルバイト(内職)の仕事をしている
 3. 学校に通っている → 次のページの問23へ
 4. 保育所や幼稚園などに通っている
 5. 就労支援施設・作業所などで働いている(福祉的就労)
 6. 病院や福祉施設で看護や介護を受けている
 7. その他()
 8. 自宅などで過ごしている → 問22へ
- 9ページの問26へ

<問19で「1. 常勤で仕事をしている(自営業を含む)」「2. パートやアルバイト(内職)の仕事をしている」と答えた方にお尋ねします。>

問20 現在の仕事にやりがいを感じていますか。(1つに○)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば感じていない
5. 感じていない

<問19で「1. 常勤で仕事をしている(自営業を含む)」「2. パートやアルバイト(内職)の仕事をしている」と答えた方にお尋ねします。>

問21 現在の職場において障がい者に対する理解は進んできたと思いますか。(1つに○)

1. 進んできた
2. どちらかといえば進んできた
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば進んでいない
5. 進んでいない

<問19で「8. 自宅などで過ごしている」と答えた方にお尋ねします。>

問22 あなたが仕事をしていない理由は何ですか。(1つに○)

1. 現在、仕事をさがしているところ
2. 働きたくない
3. 働く必要がない
4. 働きたいけれど働けない → 働けない理由(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| I. 障害の状況が仕事にあっていない | II. 仕事ができる健康状態ではない |
| III. 職場がない | IV. したい仕事が見つからない |
| V. 作業所などの福祉施設がない | |

5 教育について

<問19で「3. 学校に通っている」と答えた方にお尋ねします。>

問23 あなたの通学先はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 小・中学校特別支援学級 | 2. 盲学校・聾学校・特別支援学校 |
| 3. 大学・短大・専門学校 | 4. 小・中・高等学校(普通学級) |
| 5. その他() | |

<問19で「3. 学校に通っている」と答えた方にお尋ねします。>

問24 あなたが通学していて感じることは何ですか。(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 今の学校に満足している
2. 障がいのない児童・生徒とのふれあいが少ない
3. 周囲の児童・生徒・その保護者の理解がない
4. 送迎の体制が不十分である
5. 通学に時間がかかる
6. 進路指導が不十分である
7. 障がいがある理由で利用できない設備がある
8. 休日などに活動できる仲間や施設がほしい
9. 放課後や長期休暇中に利用できるサービスがない
10. その他()
11. 特に何も感じていない

<問19で「3. 学校に通っている」と答えた方にお尋ねします。>

問25 学校教育終了後の社会参加に関し、どのような福祉施策を望みますか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 一般企業（会社など）の障がい者雇用の拡大
2. 官公庁（市役所など）の障がい者雇用の拡大
3. 職業訓練機関の整備
4. 障がい者就業・生活支援センターの充実
5. 障がいの特性に応じた作業所などの充実
6. レクリエーション・学習活動を行う施設の充実
7. 入所施設の充実
8. わからない
9. その他（ ）

6 社会参加について

問26 あなたは、現在どのくらいの割合で外出しますか。（1つに○）

1. ほぼ毎日
2. 週3～4日
3. 週に1～2日
4. 月1～2日
5. ほとんど外出しない

問27 外出の主な目的は何ですか。（特にあてはまるもの3つまで○）

1. 通院
2. 通学、通勤、通所
3. 友達の家への訪問
4. 買い物
5. 散歩
6. 障がい者団体の活動
7. 地域の行事
8. 趣味の活動
9. 各種手続きなど
10. その他（ ）

7 福祉サービスについて

問28 あなたは現在、障害福祉サービス（※）を利用していますか。（1つに○）

1. 利用している

2. 利用していない → 利用していない理由（1つに○）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| I. 利用の方法がわからない | II. 利用しなくても生活に支障はない |
| III. 利用しても効果がない | IV. 利用したくない |
| V. その他（ | VI. わからない |

3. わからない

※障害福祉サービスとは

- ①訪問系サービス及び短期入所：居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所（ショートステイ）、就労定着支援、自立生活援助
- ②日中活動系サービス：生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援（A・B型）、療養介護
- ③居住系サービス：共同生活援助（グループホーム）、施設入所支援
- ④相談支援サービス：計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援
- ⑤障がい児支援サービス：児童発達支援、医療型及び居宅訪問型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援

<問28で「1. 利用している」「3. わからない」と答えた方にお尋ねします。>

問29 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 区分1 | 2. 区分2 | 3. 区分3 | 4. 区分4 |
| 5. 区分5 | 6. 区分6 | 7. 受けていない | 8. わからない |

問30 現在の障害福祉サービス以外で、あったらいいなと思うサービスはどれですか。（特にあてはまるもの3つまで○）

1. 話し相手や地域の人の訪問サービス
2. 小さな不安や困りごとでも相談にのってくれるよろず相談サービス
3. 趣味やスポーツをいっしょに行ってくれる趣味応援サービス
4. 食事の配達サービス
5. 外出のとき自動車で送迎してくれる送迎サービス
6. 買い物などに付き添ってくれる付き添いサービス
7. 自宅に来てくれる理容サービス
8. 庭の草取りや植木の剪定をしてくれる労働サービス

8 ^{さべつ}差別の^{けいけん}経験について

問31 あなたは障^{しょう}がいがあることで差別^{さべつ}や嫌^{いや}な思^{おも}いをする（した）ことがありますか。
(1つに○)

1. よくある 2. ときどきある
-
3. ほとんどない 4. まったくない 5. わからない

<問31で「1. よくある」「2. ときどきある」と答えた方にお尋ねします。>

問32 ^{とい}差別^{さべつ}や嫌^{いや}な思^{おも}いをした場^ば面^{めん}を教^{おし}えてください。(あてはまるものすべてに○) ^{まる}

1. 職場しょくば 2. 学校がっこう 3. 病院びょういん
4. 冠婚葬祭かんこんそうさい 5. スポーツや趣味の活動しゅみ かつどう 6. 地区の行事・集まりちく ぎょうじ あつ
7. 外出中がいしゅつちゅう 8. 店などの対応・態度みせ たいおう たいど 9. 交通機関の利用こうつうきかん りよう
10. その他 (た)

問33 あなたは、^{しょうがいしゃさべつかいしょうほう}障害者差別解消法を知っていますか。(1つに○)^{まる}

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 法律の名前は知っているが、詳しい内容は知らない
3. 障害者差別解消法について知らない

問34 あなたは、「合理的^{ごうりてきはいりょ}配慮^し」(※)について知っていますか。(1つに○)
 まる

1. 合理的配慮の考え方について知っている
2. 合理的配慮という言葉は知っているが、詳しい内容は知らない
3. 合理的配慮について知らない

※合理的配慮とは・・・障害者権利条約では、障がいのある人がない人と同じように生活するため
に過度な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。平成28年4月より
施行された障害者差別解消法でも、合理的配慮がされなければならないことが規定され、合理的
配慮を行わないことは差別として位置づけられています。

9 権利を守る制度について

問35 あなたは、成年後見制度（※）について知っていますか。（1つに○）

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

※成年後見制度とは・・・知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない人の財産や権利を守る制度です。

問36 あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。（1つに○）

1. すでに利用している
2. 将来、必要があれば利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

問37 あなたは、日常生活自立支援事業（※）について知っていますか。（1つに○）

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

※日常生活自立支援事業とは・・・知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない人が地域生活を営めるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行う事業です。

問38 あなたは今後、日常生活自立支援事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

1. すでに利用している
2. 将来、必要があれば利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

10 ^{まんぞくど}満足度について

とい 問39 あなたは、^{すずかし}鈴鹿市の^{しょう}障がい者^{しゃふくし}福祉施策^{まんぞく}に満足^{まる}していますか。(1つに○)

1. ^{まんぞく}満足している
2. どちらかといえば^{まんぞく}満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば^{ふまん}不満である
5. ^{ふまん}不満である

とい 問40 あなたは、これからも^{すずかし}鈴鹿市に^す住み^{つづ}続けたい^{おも}と思いますか。(1つに○)

1. ^す住み^{つづ}続けたいと思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば思わない
5. 思わない

とい 問41 ^{しょう}障がいのある人が^{ひと}住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要^{ひつよう}だと思^{おも}いますか。(特^{とく}にあてはまるもの3つまで○)

1. ^{なん}何でも^{そうだん}相談できる^{まどぐち}窓口をつくる
2. サービス利用の手続きを^{かんたん}簡単にする
3. ^{ふくし}福祉に関する^{かん}情報^{じょうほう}が入りやすいようにする
4. ^{ほけん}保健や^{ふくし}福祉に関わる^{かか}専門的^{せんもんてき}な人^{ひと}を^{そだ}育てる
5. ^{さんか}参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動^{ぶんかかつどう}の場^ばをつくる
6. いろいろなボランティア活動^{かつどう}へ支援^{しえん}を行^{おこな}う
7. 在宅での生活や^{せいかつ}介助^{かいじょ}がしやすいよう、^{いりよう}医療^{ふくし}、福祉サービスを増やす
8. リハビリ、生活訓練などの通所施設^{つうしょしせつ}を整備^{せいび}する
9. ^{ちいき}地域でともに^{まな}学べる^{ほいく}保育^{きょういく}、^{すす}教育を進める
10. ^{しよくぎょうくねん}職業訓練に^{ちから}力^いを入れ、^{はたら}働ける^{ばしよ}場所^ふを増やす
11. ^{しょう}障がいの有無にかかわらず、^う住民^{じゅうみん}同士が^{どうし}ふれあ^{きかい}う機会^{きかい}をつくる
12. ^{どうろ}道路、^{たてもの}建物などを^{りよう}利用しやすくする
13. ^{しょう}障がいに^{はいりよ}配慮^{せいかつ}した生活^ばの場をつくる
14. ^{さいがい}災害のときにスムーズに^{ひなん}避難^{しんく}できる仕組みをつくる
15. ^{さべつ}差別や^{へんけん}偏見をなくするために^{ふくしきょういく}福祉教育や^{こうほうかつどう}広報活動^{こうほうかつどう}をすすめる
16. その他 ()

10 自由記載

問42 その他、障がいのある方に関する施策などについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由に記入してください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、○月○日(○)までに、投函してください。